

シンポジウム「遺棄及び老朽化学兵器廃棄処理のリスク管理」

主 催：日本学術会議

共 催：（公益社団法人）化学工学会、（社団法人）火薬学会、
（社団法人）日本安全工学会

後 援：（一般社団法人）日本機械学会

日 時：平成 23 年 6 月 13 日（月）13：00～17：00

場 所：日本学術会議講堂

参加費： 無料（別途、講演要旨集実費 2000 円）

開催趣旨：我が国の義務とされている中国に存在する遺棄化学兵器の廃棄処理が昨年 10 月に開始され、また近く千葉県においても老朽化学兵器の回収と廃棄処理が開始される予定であります。これらの化学兵器の処理は、環境の回復にとって必須の業務であり、安全に進めなければならず、また国際的にも関心を集めています。折しも、福島における原子力発電所の大きな事故が 3 月 11 日の津波を契機に発生し、あらゆる観点からの安全対策の重要性が強く認識されておりますが、化学兵器の処理におきましても、作業員の安全を維持し、環境の化学剤による汚染を防止しつつ、早急に処理を進める必要があります。また、処理拠点において廃棄処理が終了した時点で設備の解体に伴う化学剤の散逸を防ぐ必要があります。遺棄化学兵器の廃棄が現実が始まったこの時点において、原子力発電所の事故を教訓としつつ、化学兵器の安全な廃棄技術について公開でシンポジウムを開催しますので、多数のご参加をお待ち致します。

次 第：

- | | | |
|-------|------|--|
| 13:00 | 開催挨拶 | 古崎新太郎（日本学術会議連携会員、遺棄および老朽化学兵器の安全な廃棄技術に関する小委員会委員長、東京大学名誉教授） |
| 13:05 | 講演 1 | 「化学兵器禁止機関(OPCW)の活動について」
秋山一郎（㈱神戸製鋼所・顧問、同小委員会委員） |
| 13:30 | 講演 2 | 「中国における遺棄化学兵器の処理状況」
稲垣克芳（内閣府参事官） |
| 13:55 | 講演 3 | 「爆発と化学剤の拡散に対する保安対策」
藤原修三（（独）産業技術総合研究所安全科学研究部門研究顧問、同小委員会委員） |
| 14:20 | 講演 4 | 「暴露レベルと除染濃度の基準」
水野光一（日本学術会議特任連携会員、（独）産業技術総合研究所環境管理技術研究部門研究顧問、同小委員会副委員長） |
| 14:45 | 休憩 | |

- 15:00 講演 5 「水中のヒ素の安全対策」
山内 博（北里大学大学院医療系研究科教授、同小委員会幹事）
- 15:25 講演 6 「諸外国における化学兵器処理の実情」
朝比奈 潔（（株）神戸製鋼所 原子力・CWD 本部主監、同小委員会幹事）
- 15:50 講演 7 「処理事業に伴うパブリックアクセプタンス」
岸田伸幸（早稲田大学大学院商学研究科、技術経営コンサルティングコーチャーズ・オフィス代表 同小委員会委員）
- 16:15 パネルディスカッション 司会：水野光一（日本学術会議特任連携会員、（独）産業技術総合研究所環境管理技術研究部門研究顧問、同小委員会副委員長）
- 16:55 閉会の挨拶 松岡 猛（日本学術会議連携会員、宇都宮大学工学部客員教授、分科会委員長）

シンポジウム終了後 17 時 30 分より懇親会を予定しております。

場所 北海園 （Tel: 03-3407-8507）

参加費 4000 円

連絡先 化学工学会（担当：梶原弘行）
電話 03-3943-3527 Fax 03-3943-3530
Email: kajiwara@scej.org